

2018年 3月号

へそ按腹たより



へそ按腹普及会日本事務局

【ご挨拶】

まだまだ寒い日が続いていますが、昼間の日差しに春を感じるようになりました。梅が咲き桜を待つ心嬉しい季節の到来です。この季節は恒例の花粉症の訪れでもあります。

最近の花粉症の特徴は、元々肝の上逆があって内熱がこもるタイプで、春の陽気に刺激されて肝がより昂ぶり、内熱が上に持ち上げられた結果粘膜が過敏になって炎症を起こし易くなっている事です。それを鎮めるために、心脾につまった邪を指先でさすって払いながら（特に水落の狭い骨の間）肝をつまんで、内熱を下にさげてください。皮膚が発赤して温かくなるまで行ってください。

また帰宅後は鼻うがいがお勧めです。ぬるま湯を鼻からすすって、鼻から出す方法でうがいをなさってください。

【活動報告と按腹情報】

仕上げの手技

お腹の頑固なコリは仕上げの手技を使わないと取ることができません。全体按腹で一通りほぐしたら仕上げの手技でできるだけ大きく掴み上げ、ゆっくり滑らしていく。座位で行うとハッキリ掴めます。お腹のシワが出やすい場所は三ヶ所あります。肋骨、へそ、そけい部付近ですが、そこは必ず按腹をしてください。曲がり角には邪が潜んでいます。特に足の付け根あたりは分り難い場所ですので、無条件に打鍼を加えてほぐし、タッピングで叩いてください。

腫瘍が小さくなった

脳腫瘍

週1回治療し1か月、腫瘍の進行が止まりました。治療部位は肝の脇腹。脇腹には大きなスジが入っている人が多く、そのスジを触ると場合によってはかえって悪い反応が出たり、貧血をおこしたりします。そのスジをほぐす必要があるのは、皮膚表面に反応が出ている場合だけです。

仕上げの手技で小さくつまんで、チクっと他とは全く違う痛みがある場合には、そこを按腹します。

この患者さんは腎臓透析もしていて、いつもは排尿が困難ですが、桑玄米を飲むと気持ち良く尿が出ると喜んでいきます。

胸のしこり

邪は胃土からお腹全体に広がり、悪い形である。石のようにコロコロするシコリは良くない。

患者さんご本人に確認していただきながら、20分程の治療で半分程に小さくなった。それから20分、シコリは殆どわからない程に消えていました。

首の腫れ

首のリンパ節なのか、乳様突起に沿って縦長に14センチ、幅4センチ程に腫れ上がっている。痛みとひきつれがあるが、熱感はない。寒い日に外から帰宅すると急に腫れ上がってきたと言う。

場所的には肝胆の経絡と関係が深い。お腹ゾーンの肝のやや後ろで治療しました。1回の治療で半分以下の大きさに改善し、引きつれと痛みはほぼ消失しました。その後の治療で2センチ程まで小さくなり、外見からは殆どわからなくなりました。

一般定例会

2018年3月21日（水）春分の日 9:00～15:00

テーマ 「痛みを解消するための即効按腹」

参加資格 どなたでもご参加頂けます。（要予約）

参加費 一般：¥8,000

会員価格 2級セラピスト以上

その他の講習会

季節ごとに短期集中講座を開催しております。詳細はホームページをご覧ください。

毎月第3水曜日に定例会を開催しております。参加資格は短期集中講座修了（2級セラピスト）以上。詳しくは治療院までお問い合わせください。

YouTube 会員についてのお問い合わせ先

【へそ按腹普及会（すぎやま按腹鍼灸院内）】

電話：03-6206-2666

メール：heso.ampuku.hukyukai@gmail.com